

令和5年度第3回役員会議事要旨

日 時 令和5年9月19日（火）15時45分～16時3分

場 所 第1会議室

出席者 鎌土学長、和田理事・副学長、梅田理事・副学長、吉田理事

陪席者 日下部監事、野本監事、佐藤副学長・事務局長、井原副学長、大塚附属図書館長

議事に先立ち、令和5年度第2回役員会議事要旨（案）について説明があり、案のとおり承認した。

【審議事項】

1. 工学研究科の改組に伴う学則の一部改正について
和田理事・副学長から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。
なお、軽微な修正があった場合は、学長に一任することとした。
2. 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等の報告について
佐藤副学長・事務局長から、資料2-1及び資料2-2に基づき説明があり、審議の結果、報告書（資料2-1）の1ページの「監事による確認」欄の一部を以下のとおり修正の上、これを承認した。
（修正前）【対応】「自己点検・評価」の公開情報を追記しました。
↓
（修正後）【対応】「改善・向上状況報告書」の公開情報を追記しました。

【報告事項】

1. 令和4事業年度財務諸表に係る承認について
佐藤副学長・事務局長から、報告1に基づき報告があった。
2. 令和6年度長岡技術科学大学概算要求内示について
佐藤副学長・事務局長から、報告2に基づき報告があった。
3. その他
日下部監事
8月30日（水）の将来計画委員会に陪席したが、スペースの再配分計画について事前に調整が十分行われており、順調に進んでいるようで良かったと思う。
9月22日（金）に今年度第2回目の業務監査を実施するが、監査項目の1つである事業継続計画（BCP）について、事前の回答で、業務方法書の第13条の規定のとおり整備されていないことを確認した。早急に対応をお願いすべく、監査当日に説明及び相談させていただきたい。
学内の新型コロナウイルス感染症の感染者数が増えていることを心配している。

佐藤副学長・事務局長

BCPについては、災害への対策等、個別に初動体制等の計画を定めて業務方法書に対応させているが、授業の再開に向けた対応等、統括したものがまだ整備されていない。詳細については、業務監査の際に説明させていただくが、日下部監事からご指導をいただきたい。

鎌土学長

新型コロナウイルス感染症については、kintone アプリで学生、教職員の発生状況を執行部も常時把握し、状況に応じて必要な対策を講ずることができる体制を整えている。

感染者が増加傾向にあることから、注意喚起を行っているが、学生、教職員ともクラスターは発生しておらず、特定の研究室を封鎖するといったことは行っていない。発生状況の名簿管理はデジタルキャンパス化の一環として有効であると認識している。

野本監事

会計監査に関しては、9月から令和5年度の第1四半期の財務諸表について増減分析を行った。会計基準の変更の影響による収支の増減はあったが、例年と比較し大きな問題はないと考えている。個別には、海外旅費が、コロナ禍後の行動制限の緩和による海外との交流の活性化が考えられることから大幅増となっており、その他、賞与が前年度同期と比較して、人事院勧告の影響もあり増加している。

また、固定資産の購入等の経費の支出に関して、受託研究費及び共同研究費の大幅増により研究費全体の規模が大きくなっていることもあり、より厳密な支出管理を行ってほしい。

鎌土学長

今後、光熱水費の高騰や人事院勧告の動向についても注視しながら補正予算の編成等を行っていきたい。

研究費の獲得増については、教員の責任の重さや業務の多忙に繋がることも想定され、支出管理に支障を来すことのないよう注意が必要である。また、今後も大型予算における設備の導入等が多く見込まれることから、導入スケジュールを正確に把握しておくことが必要である。

佐藤副学長・事務局長

予算の無駄遣いをせず厳密な支出管理をしなければならない一方で、大型の予算等は計画的な予算執行が求められる。特に大型装置等の高額物品の購入には、調達等に時間と労力がかかるので、教員の協力のもとに進めていきたい。

以上